



一中だより

校訓 「自ら考え 自ら行い 自ら責任を」

豊中市立第一中学校
学校だより 第7号
令和3年(2021年)
7月19日
発行責任者 高橋武彦

七夕の笹飾りにたくさんの

願い事が飾られました



7月7日は七夕。一年に一度、織姫(琴座のベガ)と彦星(鷲座のアルタイル)が天の川を渡って出会う夜のことですね。日本に古くから伝わる年中行事の中で最もロマンチックな行事だと思います。七夕はもともと平安時代に中国から伝わったお話であり、江戸時代に願い事を書いて笹竹に飾る風習が庶民の間に広まりました。

一中でも7月6日に神宮先生と澤田先生が中庭に笹竹を用意してくださったところ、大勢の生徒が短冊に願い事を書いて笹竹に結んでいました。願い事をいくつか紹介します。

「夢がかないますように」「友だちが100人できますように」「好きな人と仲良くなれますように」「優しい人と付き合えますように」「頭が良くなりますように」「テストで〇〇点が取れますよう」といった願い事から、「コロナが早く終わりますように」「コロナが消えますように」「みんなの好きなことができますように」「みんな健康でいられますように」「ずっとみんな幸せになれますように」といった新型コロナウイルスのことやみんなのことを考えた願い事がありました。

短冊に書かれた願い事を見ながら、「みんなの願い事が叶うといいな」と思いました。



3年生「高校の先生の話をお聴く会」

7月8日に3年生を対象とした「高校の先生のお話を聴く会」では桜塚高校と大商学園高校の先生からお話を聴きました。話の中で進路選択に向けて「何ごととも一所懸命にやること」「時間を守ること」「提出物を必ず出すこと」といった基本をしっかりとやり、中学校生活を大切にしてほしい、と話されていました。ふだんは聴くことのない高校の先生の話が聴ける貴重な機会だったと思います。



ねんせい こうこうでまえじゅぎょう ■ 3年生 「高校出前授業」

7月9日の5、6時間目に3年生は、9つの高校・専門学校の先生方の「高校出前授業」を10講座に分かれて受講しました。どの授業も高校の特色ある授業や実技講習など多彩な内容であり、3年生がとても前向きに体験している様子が見られました。進路選択に向けて考える機会になったものと思います。



※協力いただいた高校・専門学校：興国高校、大阪成蹊女子高校、英真学園高校、東淀工業高校、昇陽高校、大阪美容専門学校、宣真高校、大商学園高校、大阪高校

「高校の先生の話」を聴く会」と「高校出前授業」ではたくさんの高校や専門学校に協力いただきました。大変ありがとうございました。

ねんせい だんじょきょうせいきょういく ■ 2年生 「男女共生教育」

7月12日の3、4時間目に2年生は「男女共生教育」として、助産師さん（うめかけレディースクリニック）からのお話を聴きました。「中学生の心とからだの変化」や「デートDV」などについてのお話でした。

中学校3年間は心とからだが大きく成長する時期です。困ったことや悩みなどがあれば、助産師さんが話されていたように一人で抱え込まず、家の人あるいは学校の先生、専門機関に相談をしましょう。



ねんせい やくぶつらんようぼううしきょういく ■ 3年生 「薬物乱用防止教育」

7月13日の4時間目に学校薬剤師さんより3年生に「薬物乱用防止」についてのお話をいただきました。薬物・危険ドラッグの種類と乱用した場合の症状、からだと心への影響などについて詳しい説明がありました。

薬物や危険ドラッグを勧められた時にどう答えるのか。

断るポイントは次の3つ。「はっきり、きっぱり」

「自分を守る」「早く立ち去る」です。つまり「断る勇気」を持つことです。困った時などは、家の人や先生たちに相談しましょう。

